

平成29年度ホタテガイ採苗通報(第7報)

平成29年5月25日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-41-0652 FAX:0226-41-0743
 E-mail:kssuisi@pref.miyagi.lg.jp
 HP: http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/
 Facebook: https://www.facebook.com/kesuishi
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0130
 県漁協各支部青年部・研究会

県北中部全域で稚貝の付着は順調です

《調査結果の概要》 調査日:5月15~23日

○北部海域(唐桑~歌津)

- 各調査点の表層水温は13.8~14.5℃, 10m層水温は10.6~11.2℃でした。
- 10m曳での浮遊幼生数(大型)は, 只越(唐桑)及び大前見(大島), 蔵内(本吉)で先週より増加し, それぞれ14個体/m³, 18個体/m³, 18個体/m³, 岩井崎及び唐島(大島)では先週とほぼ同じでそれぞれ8個体/m³, 7個体/m³でした。
- 水深10mに垂下した試験採苗器(5~6日間垂下)への稚貝付着数は, 只越(唐桑), 岩井崎, 蔵内(本吉)で先週より増加し, それぞれ668個体/袋, 596個体/袋, 304個体/袋でした。

○中部海域(北上~女川)

- 各調査点の表層水温は13.0~15.2℃でした。
- 浮遊幼生(大型)が大指(十三浜), 黒島沖(十三浜), 出島(女川)で見られ, それぞれ11個体/m³, 3個体/m³, 2個体/m³でした。
- 水深15mに垂下した試験採苗器(6~7日間垂下)への稚貝付着数は, 出島(女川)で316個体/袋と先週とほぼ同じ, 寺間(女川)では先週より増加し1,540個体/袋でした。

○その他(ムラサキガイ等)の浮遊幼生等

- ムラサキガイ等の浮遊幼生数は, 北部海域では先週と同程度, 中部海域では先週より増加しました。なお, 試験採苗器内にもムラサキガイ等の付着稚貝が多く見られました。

表 浮遊幼生数及び付着稚貝数

調査点 調査月日	水温(℃) 表層/10m	採取方法 (プランクトンネット)	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/m ³		その他(ムラサキガイ等) 幼生数 個体/m ³	ホタテガイ付着稚貝数 個体/袋 (投入日-回収日)
			250ミクロン未満 (小型~中型)	250ミクロン以上 (大型)		
北部海域(唐桑~歌津)						
只越(唐桑) 5/22	14.5/11.2	10m曳	44	14	35	668 (5/16 - 5/22)
		20m曳	52	18	34	1,104 (5/16 - 5/22)
岩井崎 5/22	14.1/10.6	10m曳	49	8	39	596 (5/16 - 5/22)
大前見(大島) 5/22	13.8/10.9	10m曳	65	18	45	
唐島(大島) 5/22	14.2/11.1	10m曳	38	7	44	
蔵内(本吉) 5/22	14.0/10.9	10m曳	51	18	35	304 (5/17 - 5/22)
中部海域(北上~女川)						
大指(十三浜) 5/23	14.7/ -	10m曳	46	11	948	
黒島沖(十三浜) 5/23	14.8/ -	10m曳	4	3	34	
出島(女川) 5/15	15.2/ -	15m曳	6	2	52	316 (5/15-5/22)
寺間(女川) 5/16	13.0/ -	-	-	-	-	1,540 (5/16-5/22)

県外情報

青森県(5/25): 全湾で付着が終盤。付着状況を見ながらの間引きを呼びかけ。
 岩手県(5/23): 稚貝の付着は順調。

次回の通報発行は6月1日頃の予定です。